

新得町社協だより

# ふれあい

## 「新得町生活支援体制整備事業 進捗状況」

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的とし、定期的な情報共有・連携強化の場として「協議体」を設置しました。「新得町生活支援体制整備事業」では、「生活支援コーディネーター」が「協議体」のネットワークを活かし、資源開発や住民主体のサービスが活発化されるよう、地域全体で高齢者を支える体制づくりを地域の方とともに進めていきます。

(発行者) 平成30年2月号  
社会福祉法人  
新得町社会福祉協議会  
新得町3条南3丁目5番地  
保健福祉センター「なごみ」内  
Tel 0156-64-3253

### ～もくじ～

- ☆ 新得町生活支援体制整備事業  
進捗状況…1P
- ☆ お知らせのご案内…2P
- ☆ わすれん塾近況報告…3P
- ☆ きらり・らら近況報告…4P



<第3回協議体  
グループワーク>

| 平成29年度      | 内 容                            |
|-------------|--------------------------------|
| 6月 第1回 協議体  | 生活支援体制整備事業制度説明、協議体スケジュール、他     |
| 8月 第2回 協議体  | 新得町における現在の生活支援サービス、地域現状・課題把握、他 |
| 10月 先進地視察   | 池田町の生活支援体制整備事業の取り組みについて        |
| 11月 第3回 協議体 | 地域の課題、課題に対する必要な取り組み・サービス、他     |

## 地域住民が主体となり生活支援・介護予防サービスの 充実が必要となる背景（今後の予測）

- ・ 少子高齢化に加え、大幅な人口減！
- ・ 独居、高齢者夫婦世帯の増加
- ・ 5人に1人が認知症
- ・ 要介護（支援）認定者の増加
- ・ 介護職の担い手不足、など



今までのように行政、サービスだけで支えられない！  
介護予防、地域での支え合いは必須！

## 新得町生活支援体制整備事業とは？

平成27年度の介護保険制度改正によって、介護予防給付の一部である介護予防訪問介護及び通所介護は、町が地域の実情に応じた取組を行うことができる「介護予防・日常生活支援総合事業」へと移行されることとなり、ボランティアなど地域の多様な主体を活用しながら、高齢者を支援していくこととなりました。新得町では、地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実が図れるよう、「新得町生活支援体制整備事業」を実施し、地域の互助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めます。



生活支援  
コーディネーター  
池田 輝幸

## ～お知らせとご案内～

### コミュニケーションと傾聴

コミュニケーションの基本は「相手と心を通わせる」こと  
その第一歩は「相手の話を目と耳と心できくこと」です。  
研修会では「コミュニケーションの基本・傾聴」を学びます。

●日時：平成30年2月19日（月）  
13:30～15:30

●場所：保健福祉センターなごみ

●講師：北海道「傾聴塾」指導者  
木村 睦子 氏



締切 2月16日（金）

#### お問い合わせ・参加の申し込み

新得町社会福祉協議会 TEL 64-3253 FAX 64-0534

保健福祉課在宅支援係 TEL 64-0533 FAX 64-0534

### 福祉有償運送

#### 利用してみませんか

福祉有償運送の利用者の対象範囲は下記に記載した条件を持ち、単独では、公共交通機関を利用することが困難で、会員として登録されている者、またはその付添人となります。



- 身体障害者福祉法第4条に規定する身体障害者
- 介護保険法第19条1項に規定する要介護認定者
- 介護保険法第19条2項に規定する要支援認定者
- その他肢体不自由、内部障害、知的障害、その他の障害（発達障害、学習障害を含む）を有する者

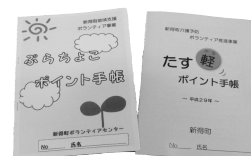
ご利用には登録料、ご利用距離と待ち時間または院内介助による料金がかかります。  
詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。

新得町社会福祉協議会 TEL 64-3253

### ボランティアポイント交換受付中です！

H29年度に貯まったポイントがスマイルチケットに交換できます。  
ポイント手帳と印鑑をお持ちの上、「保健福祉センターなごみ」または  
「屈足支所」までお越しください。

交換期間  
2月28日まで



## わすれん塾 ～近況報告～

### 高校生たちと…

### 新得高校オダッシュ部 訪問★

新得高校オダッシュ部2名が、冬休みを利用し、わすれん塾にボランティアに来ました。お茶出しや準備、利用者の間に入り体操や三味線演奏に参加するなど限られた時間でしたが交流を深めました。

わすれん塾のみなさんにとって高校生は孫のような存在。訪問が嬉しかったようで、帰り際に「またきてね」と別れていました。



わすれん塾のボランティアと一緒に利用者へお茶出しのお手伝い

体操の様子。  
左右違う腕の動きで体だけではなく頭の体操も同時にやっています。



### 世界でたったひとつの作品…

### 陶芸に挑戦！

この日のわすれん塾は毎年恒例の陶芸作り。陶芸センターの宇賀指導員のもと、今年の作品は花瓶。模様付けでは、シンプルなものからたくさん模様がついたものまで、それぞれの個性が出ていました。

みなさんの手元に渡るのはおよそ1ヵ月後。どの様な作品になっているのか完成が待ち遠しいです。



作業中の様子↑

みなさん真剣に作業に没頭しています  
その表情はまさに職人の顔つき！

# らら・きらり ～近況報告～



## 屈足保育所との交流

11月30日

かわいい園児7名が「らら」に来てくれました。かわいらしい踊りに高齢者の皆さんも思わずにっこり。一人一人と握手してさらにニッコリ！楽しいひと時にうっとりでした。また来てくださいねー！



## 屈足中学校「夢SKIP福祉学習交流会」

12月5日・7日

○中学生12名（各日6名×2グループ）

○ららデイサービス利用者19名

少し緊張気味な中学生でしたが、高齢者の皆さんと各テーブルに座り、カルタ、お手玉バランスゲームなどをしていくうちに交流が深まり、お互い会話や笑顔もどんどん増えていきました。

その後、中学生が考えてきた紙コップタワーやたわしカーリングゲームなどを実施、孫のような中学生たちに教えてもらいながら終始ニコニコ楽しいひと時に目尻が下がりっぱなしでした。



## 「らら・きらり」クリスマス会



12月19日

○利用者様、ご家族様、運営委員、

ボランティア、職員総勢95名参加

1年最後の行事は「笑って元気・話して元気・食べて元気」なクリスマス会。利用者様もご家族様、また、日頃からお世話になっている運営委員さん、ボランティアさんに日頃の感謝を込めて、らら、きらり職員が若さあふれる芸を発表し楽しんでもらいました。

その後、赤木会長や竹浦副会長がサンタさんに扮しプレゼントをさし上げることができました。

楽しかったー！